

東京都立大学哲学科

2003年度卒業論文・修士論文中間発表会(修正版)

日時： 11月5, 7, 10, 11日、3・4・4'限

場所： 中会議室（本部棟三階）、および、91年館多目的ホール（7日のみ）

11月5日（水）	①13:00-14:00 米山淳一 異邦人の使徒パウロ ②14:10-14:55 津久井康明 ブーバー「我と汝」より(仮) ③15:05-16:05 太田宏平 圏論の意義 ④16:15-17:00 坂元 彩 言語哲学(仮)
11月7日（金）	①13:00-14:00 山口良二 ゼウス、イーオー、プロメーテウス、交差する運命 —アイスキュロス『縛られたプロメーテウス』における予言的表現— ②14:10-15:10 河島思朗 「オルペウスの歌(Ov. Met.10. 148-739)」の詩的構造 ③15:20-16:20 寺本 稔 アウグスティヌスにおける時間論の後景
11月10日（月）	①13:00-14:00 稲津阿育 懐妊する精神のたとえ—『饗宴』と『テアイテス』— ②14:10-14:55 福西亮輔 ジョルダノー・ブルーノ(仮) ③15:05-16:05 峰岸利光 還元公理について ④16:15-17:15 土屋陽介 超越論的論証と懐疑論
11月11日（火）	①13:00-14:00 森 建 The Emergence of Russell's Logicism ②14:10-14:55 水落勝彦 論理的原子論、fact、contemplationについて ③15:05-15:50 (仮) 沢田幸子 カッシーラーのシンボル概念について(仮) ④16:00-17:00 清水暁子 フッサールの現象学—エゴコギトの自己探求と明証の問題—

※日によって会場が違うのでご注意下さい。11月7日は91年館、それ以外は中会議室で行います
※11月6日は発表はなく、通常の授業が行われます。ご注意下さい。